

# 学校規模 議論の前提共有

## 市P連提言内容など学ぶ



福井市P T A連合会は26日夜、市教委が検討を進める学校規模適正化の全体勉強会を同市の県国際交流会館で開いた。市教委の検討委員会の提言内容や、

福井市教委が検討を進める学校規模適正化について、市内小中学校のP T A役員が知識を共有した勉強会。26日夜、同市の県国際交流会館

先行する大野市の学校再編の経緯を、福井市内小中学校のP T A役員約100人が学び、各P T Aやプロック単位で議論を深めるための前提知識を共有した。

市学校教育課の氣谷達郎課長は、学識経験者らで2018年9月に発足した検討委の議論の経過や今年5月の提言内容を説明し、「子どもたちの学びの

大規模校	
① 森田小	速やかに2校へ分割
小規模校	
② 殿下小中	隣接校と統合
長橋小	速やかに2校化などを協議
越廼小	
国見小	
③ 鷹巣小	小学校と併せて再編を協議
越廼中	
国見中	
④ 鷹巣中	美山中との小中一貫校化を協議
羽生小	
⑤ 美山啓明小	小規模校化が進めば鷺小との統合を協議
下宇坂小	
⑥ 本郷小	東郷小、文殊小を拠点校とする2校化を協議
⑦ 一乗小	①西藤島小、藤島中と統合②鷺小、川西中と統合の2案を協議
六条小	
⑧ 上文殊小	小学校は小規模校化が進めば鷺小との統合を協議。中学校は川西中との統合を協議
⑨ 大安寺小中	
⑩ 棗小中	

### 福井市学校規模適正化検討委員会の提言内容

環境を第一に考えた」と強調。大規模校の森田小の2校化や、小規模校の殿下小中の隣接校への統合など、提言で示された八つの再編

案は「一つの案であり、保護者の意向を十分に踏まえ柔軟に対応する」と繰り返し返した。

大野市P連の田中宏直前会長と中村昌嗣現会長は、同市教委が16年に発表した、10小学校を2校に、5中学校を1校にする再編案について「大騒ぎになったわりに住民説明会の参加者が少なかった。自分の子どもが通っている間は再編さ

れないからと参加しなかった保護者が多かったのでは」と振り返った。

福井市P連の後藤正邦会長は、同市は小学校区と公民館区が同じ場合がほとんどで、学校の再編は地域の在り方に関わると指摘。小中学校やこども園などに通う子どもがいる保護者間で学校や地区の在り方を話し合った上で、市教委が今後開く意見交換会への参加を

呼び掛けた。

参加した小規模校のP T A役員は「統合は仕方ないという雰囲気だが、児童生徒数が少ないと長くない理由がよく分からない」と率直に話した。別の小規模校の役員は「小さい方が目が行き届くが競争も大事。母校がなくなるのは寂しいが、ある程度の子どもの数は必要」と話していた。

(小林真也)